

第2回大河ドラマを生かした博覧会推進協議会総会 議事概要

日 時：令和8年9月16日(水)13:00～15:00

場 所：高知ちばさんセンター 大ホール

1 開 会

進行：高知県観光政策課 中橋課長補佐

2 会長挨拶

会長挨拶：高知県知事 濱田省司

顧問挨拶：ジョン万次郎直系5代目 中濱京氏

観光博覧会の名称について、
「どっぷり高知旅博～ジョン万のふるさとを巡る旅～」に決定

3 議事

進行：高知県観光振興スポーツ部 小西部長

(1) 大河ドラマを生かした観光振興基本計画(案)について

説明：高知県観光政策課 矢野課長

資料：資料1 大河ドラマを生かした観光振興基本計画(案)

資料2 第1回大河ドラマを生かした博覧会運営委員会での主な意見

(2) 受入環境整備に向けた市町村への支援について

説明：高知県地域観光課 別府課長

資料：資料3 受入環境整備に向けた市町村への支援

資料4 拠点会場一覧

質疑応答・意見交換

【発言】板原委員

- ・ 土佐市では、大河ドラマ「ジョン万」の放送を観光振興の大きな機会と捉え、受け入れ環境の整備・情報発信の準備を進めている。令和8年9月議会において補正予算が可決され、ゆかりの地である宇佐に新たな観光拠点を設置するべく設計に着手する。この施設では、ドラマ放送期間中の展示だけでなく、放送終了後も見据え、土佐市独自の歴史の展示、観光案内、物販、軽飲食など、観光振興の拠点として活用すること

を検討している。ソフト面では、市内の事業者や地域住民とも連携をとりながら、大河ドラマ放送を契機に訪れる人々をしっかりと受け入れ、周遊・消費につながる体制を整えていきたいと考えている。ジョン万次郎出港の地として、この機会を最大限に生かし、県や県内市町村とも連携して、高知県全体の観光振興につなげていきたい。

【発言】植田委員

- ・ ドラマの放送により、室戸市への波及効果をより一層大きく出せるよう、関係者からのご支援をお願いしたい。ジョン万次郎の捕鯨に関する技術と、室戸古式捕鯨300年の歴史との関係性を見つけ、鯨館を拠点とした県東部への集客に向けて全力で取り組んでいく。また、まだ読み終わっていないが、河田小龍の「漂異紀畧（ひょうそんきりゃく）」などの書籍・資料からジョン万次郎と室戸市の関係性を見つけたい。ジョン万次郎と室戸市の関係性についての情報があれば提供していただきたい。
- ・ 大河ドラマの期間だけでも、室戸市と土佐清水市をつなぐ高速船の運行にチャレンジしてはと考えている。海から見る土佐湾、高知の山並みや海岸線などが、新たな観光素材となるのではないかな。
- ・ 室戸に人を集めることができれば、県東部の観光振興につながることになるため、その責任を受け止めながら頑張っていきたい。

【発言】木村委員

- ・ まず、航空ネットワークを活かした送客と全国への情報発信が考えられる。羽田線や伊丹線を始めとした国内線の機内やWEBメディアを活用した情報発信によって、全国へジョン万の機運を醸成し、県内各地の周遊と長期滞在に繋げていきたい。
- ・ インバウンド誘客と国際交流の促進について、日米草の根交流サミットなどを通じて、海外の旅行会社へのセールスやアメリカ等からの誘客を加速させ、高知龍馬空港を起点とした二次交通との連携も強化したい。
- ・ 観光誘客にとどまらず、航空輸送の強みを生かした県産品の販路拡大、地域ぐるみのおもてなしに協力し、将来にわたる関係人口の創出と地域の活性化に貢献したい。

【発言】川真田委員

- ・ インバウンドの誘客促進として、最近はディスプレイ付きの座席が増えているので、観光・食・歴史を含めたジョン万次郎のストーリーを伝えるPR動画を作成していただければ告知できる。日本の航空会社のみならず、事業提携している海外の航空会社と連携した取り組みもできればと思う。
- ・ アメリカは旅行会社の力が強いので、現地の旅行会社と連携した商品造成をしてはどうかな。
- ・ 国際交流については、アメリカの日本人学校やアジア専攻の大学生などにターゲットを絞り、高知を知ってもらうためのアプローチをしてみてもどうか。

【発言】樋口委員

- ・ 人が動く動機には、目的ときっかけが必要。大河ドラマと県をあげての観光博覧会は、全国規模の目的ときっかけとなる。県内の貸切バスは、少なくなってきたとはいえ、現在16社157台という状況。年間の稼働率は40%ほどで、余力は十分にある。近年は個人旅行のウエイトが高まり、バスよりもレンタカーという傾向があるが、周遊観光やシャトルバスでも貢献できると考えている。
- ・ 路線バスや路面電車では、全国で広く使えるICカード「ICOCA」を、令和10年4月からほぼ県内全域で使えるよう整備を進めている。大河ドラマにより観光客が増える頃には、県外の方にSuicaやPASMOも使ってもらえるようになる。なお、空港連絡バスについては、先行して今年度末からの供用開始を予定している。
- ・ 海外からの観光客も増えていることから、多言語表示も増やしていきたい。また、1枚の切符で県内の複数の交通手段を広域で利用できるような、企画切符や周遊切符も参画していきたい。また利用したいと思ってもらえるような接遇や利用環境の向上に努めていきたい。
- ・ 博覧会広報のため、県外を頻繁に走る高速バスの車体ラッピング広告は有効と考える。交通機関を使った博覧会のPRにも積極的に協力したい。

【発言】二宮委員

- ・ ジョン万次郎資料館は、大河ドラマ放送決定後から入館者が増えており、様々な展示を増やすなどのリニューアルを計画している。土佐清水市民にもジョン万次郎を知っていただけるよう、市民に向けたジョン万次郎資料館の無料入館日などを設け、市民全体でおもてなしができるような取り組みを進めたい。
- ・ ドラマ館を市街地に設置する計画を進めている。それと合わせて、商店街に来た観光客を迎えるための取り組みを進めている。また、中浜の生家にも多くの方が訪れている。観光客が本格的に多くなる前に、中浜地区や市街地の駐車場の整備を進めていきたい。
- ・ 足摺七不思議の認知度向上のため、理解してもらえるよう表記や看板を整備することで、足摺岬における滞在期間を伸ばしていきたい。また、土佐清水市の観光施設や飲食ができる場所が一目でわかるようなマップづくりも予定している。
- ・ 民間事業者の中にも、関連グッズを作り、直販所を設置し、販売しようとする動きがある。

【発言】小松委員

- ・ 幡多地域の6市町村で連携し、幡多地域での過ごし方をまとめた冊子の作成や、写真と動画を活用したモデルコースづくりも検討している。
- ・ しまんとあしずり号について、メインとなる会場との直行便を検討するなど、利便性を高める仕組みづくりも考えている。

- ・ 中村駅にビジターセンター機能を持たせ、そこから幡多地域の6市町村に向けて誘客していきたい。単なる情報発信だけでなく、商品開発、営業、宿泊施設や観光施設の手配までワンストップで行う旅行会社のような機能を持たせ、幡多地域に滞在していただけるような仕組みづくりを行いたい。
- ・ 四国Cルート観光協議会が、道後からのモデルコースをつくり、写真や動画を使用したパンフレットで紹介している。松山市からの動線が見込まれるため、土佐清水市に来ていただけるための仕組みづくりをしていきたい。

【質問】 田村委員

- ・ 大河ドラマ館について、当初はメイン会場の候補として大河ドラマ館が検討中となっていたかと思うが、今回の資料には見受けられなかった。現在検討・調整中ということか？

【回答】 高知県地域観光課 別府課長

- ・ 本日の資料は、新設する補助制度についての内容となっている。ドラマ館に関しては詳細が決まっておらず、別の仕組みで補助制度を作ること検討しており、今回の資料には掲載していない。

【発言】 池田委員

- ・ ドラマ終了後もジョン万次郎や関連する人物を発信していくためのバックアップを県および各市町村にお願いしたい。「らんまん」や「あんぱん」では、ドラマ終了後はその人物に関連するお土産コーナーが陳列棚から消えてしまった。これは、県の観光資源にとっての大きな損失である。お土産が高知県やその人物のことを思い出すきっかけとなるため、ドラマ終了後も販売を続けることが重要である。個別の土産品店が、ドラマ終了後に特設コーナーを撤去するのは合理的なことである。一方で、全体的な視点で判断ができる県や市町村の出資する土産品販売施設である高知県のアンテナショップおよび高知龍馬空港の直営売店等においても、同様にドラマ関連商品を撤去している。ドラマ終了後にもムードが下がらないよう働きかけてほしい。
- ・ 土佐経済同友会の講演会においてジョン万次郎を観光資源として根付かせる施策として、どこかの通りを「ジョン万ストリート」と呼んではどうかという声も上がっていた。土佐ジョン万会主催の英語弁論大会についても、高知県で各都道府県の優勝者が競うような発展的な展開ができないだろうかという声もあった。高知が生んだ人物を継続的に発信してほしい。

【回答】 高知県観光振興スポーツ部 小西部長

- ・ 過去には、龍馬伝放送後の落ち込みを小さくするため、市町村の皆さまと一緒に博覧会の継続を行った事例もある。具体的なことを言える状況ではないが、ジョン万放送後も落ち込まないように、先を見据えながらジョン万次郎のスピリッツを顕彰し、大河ドラマによって上がった認知度をキープできるような施策を考えていきたい。様々な角度からご意見ご提案をいただきたい。

【発言】山崎委員

- ・ 高知県はジョン万次郎に限らず観光資源の宝庫だと思っている。我々は「みんなのジモッチャ」というアプリと地域通貨のアプリ事業を実施しており、高知県が持つ様々な素晴らしい観光資源を、一つのアプリに再編集し、周遊に繋げていければよいと考えている。
- ・ ふるさと納税ポイントという形で市町村に貢献する取り組みを行っているが、手続きが煩雑となっている。共通返礼品化できるポイントができることで、県下全域の観光や飲食などで使えるようになるので、検討いただきたい。

【発言】岡崎委員

- ・ 日米草の根交流サミットが来年は高知県で開催される。ジョン万次郎はアメリカの教科書の副読本になっていたと記憶している。アメリカでの知名度は坂本龍馬より高いと聞いているが、状況について中濱顧問にお伺いしたい。

【回答】中濱顧問

- ・ 教科書というより書籍が出版されていると聞いている。ジョン万次郎が暮らしたフェアヘイブンではグッズも制作されている。大河ドラマに合わせてアメリカ側もいろいろ考えていると思う。

5 閉 会

進行：高知県観光政策課 中橋課長補佐